

越廼中学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時]

令和3年12月5日(日) 10:25~12:50

[出席者]

(1) 学校側出席者

越廼中学校校長、教頭、担当教諭1名、越廼地区社会福祉協議会会長

(2) 市側出席者

福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容]

- ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
- ・「越廼サミット」の見学、参加

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

	環境の取組	能力・態度	概念
I	・総合的な学習の時間で、SDGsに倣って、越廼独自の「越DGs」活動を展開。 ・「越廼をのこす」を目標に、持続可能な地域づくりに向けて10の小目標を設定。 ・劇「浦越太郎」の上演、小目標のピクトグラム化を通じて、越廼の未来を考えている。	①~⑦すべて	①~⑥すべて
		所感	
		個々の取組は実施後の振り返りで感想や新しい発見を集約し、年間の学校全体における活動は越廼サミットで振り返りを行って次年度の企画につなげるなど、個々及び学校全体の2つのPDCAサイクルで継続的改善に向けた活動が進められている。	

II	環境の取組	能力・態度	概念
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示によって生徒に節電、節水行動の周知を図っている。 ・ 実施状況を生徒に口頭で直接確認を行い、行動を徹底させている。 ・ 校庭に設置した太陽光発電システムの発電量をモニタリングして、自然エネルギーについて理解を深めている。 	①、⑦	③、⑥
		所感	
III	環境の取組	能力・態度	概念
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域やPTAと協力して、資源回収や海岸の清掃活動を実施している、 ・ 地域の方から提供いただいた水仙の球根を育て、イベント時などに配布している。 	④、⑤、⑥、⑦	②、④、⑤
		所感	
IV	環境の取組	能力・態度	概念
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、大味川の生態系調査を通じて、地域の自然環境を把握している。 	①、③	①、③
		所感	
V	その他の所感		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「越DGs」の一環で上演された劇や制作されたCMは完成度が高く、生徒たちの郷土愛が感じられる作品となっているため、今後も越廼のPRに活用していただきたい。 ・ 今年度の活動で小目標の設定（ピクトグラム作成）まで完了しているが、必要であればさらに改善を積み重ねて、将来の世代に引き継いでいってほしい。 ・ 人口減少社会の中で地域の方々とのつながりはかけがえのない絆であるため、今後もそのつながりを大切に育んでいただきたい。 ・ 「越廼PR」に関しては、インターネットやSNSの活用とともに、情報発信が一方通行にならないよう、受け取り手とやりとりができる工夫を考えていくとよい。 ・ 自然環境調査をはじめとして、取組には適宜環境アドバイザーなどの専門家の支援を仰いで、活動の充実を図るとよい。 		

[訪問の様子]

